

美幌総合計画策定

『びほろ』みらいまちづくり会議

第7期

美幌町総合計画

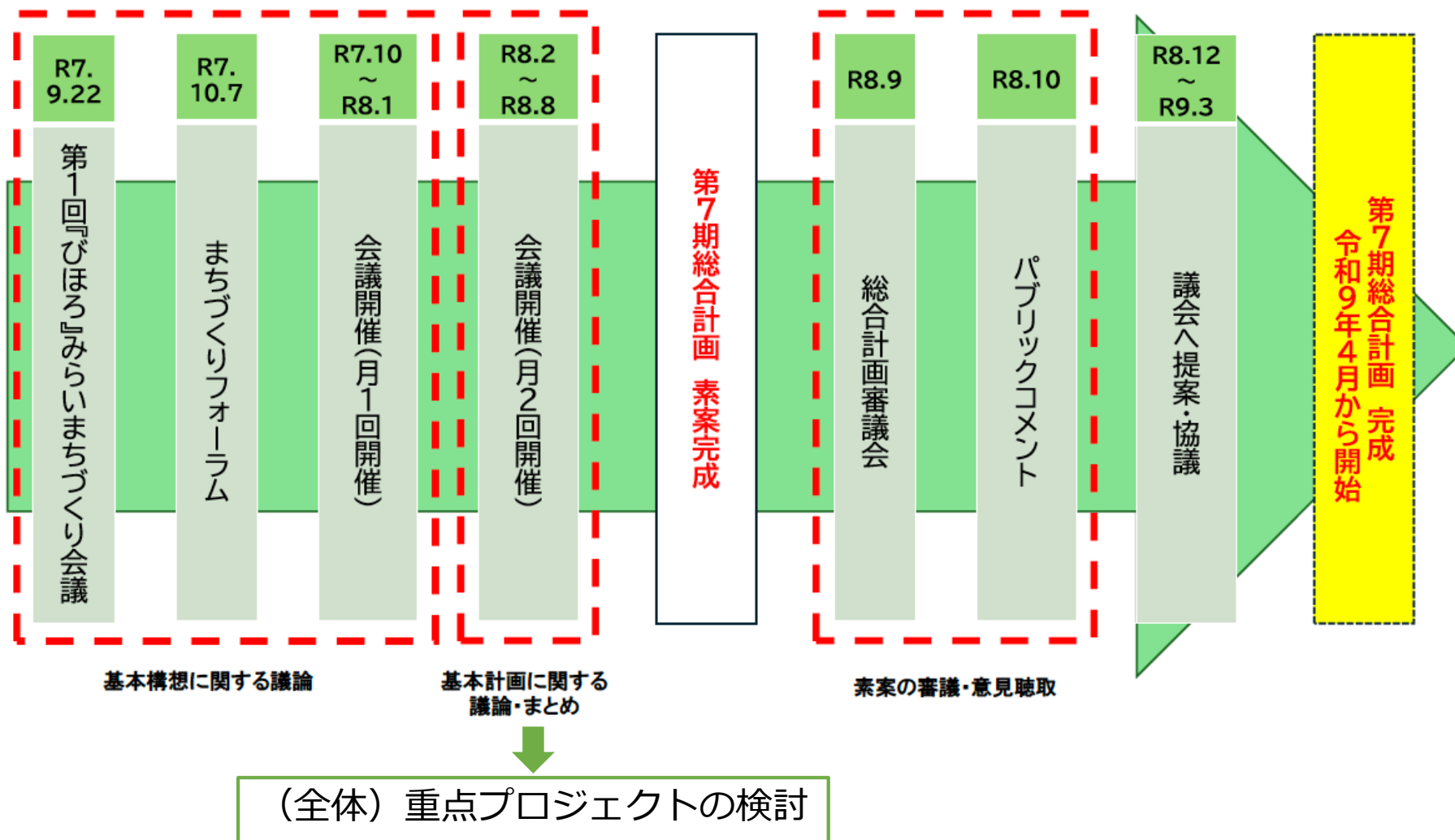
策定へ向けて 2027→2038

2026年5月29日

1. 策定経過の確認

策定スケジュール

現在地



2. 前回の振り返り

第12回全体会議（5/14）

開催日時:2026年5月14日（木）18時30分～20時

場所:保健福祉総合センター しゃきっとプラザ

- 第12回 『びほろ』みらいまちづくり会議では、6のテーマ（①共創の場づくり、②学習・教育・子ども、③農業・観光・産業、④イベント・にぎわい、⑤デジタル・情報・防災、⑥地域コミュニティ）に分かれて、『町民主体のまちづくりのアクション』を考えてもらいました。
- 出されたアイデアを「行政と役割分担をしながら取り組むまちづくりアクション」と「町民主体で取り組むまちづくりのアクション」に整理してもらいました。
- ワークショップでは、町民主体で取り組める活動として、情報発信、交流の場づくり、子ども・若者の活躍、まちなかの活用、地域の支え合いなど、多様なアイデアが出されました。



3. 町民主体プロジェクト案

①共創の場づくり

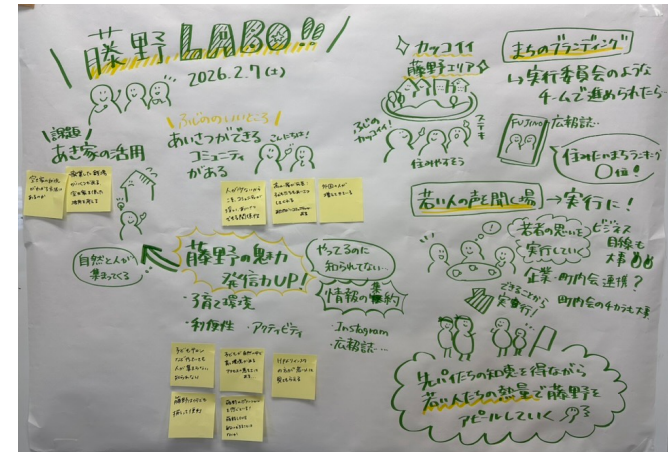
びほろ共創の場プロジェクト

- 町民同士が出会い、語り、アイデアを試せる場をつくる活動です。
- 高校生との意見交換、外国人との交流、美幌出身者ネットワークなどの対話の場です。
- 高齢者カフェ、美高カフェ、若者カフェ、町民セミナーなどと連動させ、気軽に来られて、少し役割があり、楽しい場にします。

●町民がやれること

- びほろ共創の場の運営および参加
- 月1回、町民・高校生・事業者などが集まり、小さな企画を持ち寄る場にする。
- 行政のひとおし：会場の提供、ファシリテーション講座

●地区の若手で作るカフェトーク(藤野まちづくりLABO・札幌市)



カフェトークからスノーシューツアーやまち歩きが自主的に始まっています

●若者が交流しながら地域コミュニティのサポートを考える (マチトモLABO・札幌市)



②学習・教育・子ども

子ども・若者応援プロジェクト

- 子どもや高校生が、地域の中で学び、活動し、活躍する取組です。

●高校生・若者が中心でやること

- 放課後の学習支援、祭りやイベントへの出店、美高マルシェ、美高キッチンカー、

●高校生・若者×ベテランママ、運動経験者などでやること

- 子ども食堂でのフリー塾、保育付き学習の場、子育て相談スペース、地域スポーツのクラブ化などがあげられています。
- 「びほろ高校生・若者まちづくりプログラム」として、商店街と連携したイベント出店、マルシェ、
- 高校生や若者、運動経験者が連携して地域スポーツ指導補助などを検討し、年間で取り組みを整理する。参加した高校生にはボランティア証明などを発行することも想定する。
- 行政のひとおし：学校などとの調整

●会館を改装してカフェ・子ども食堂の実施(札幌市)

- ・「単独の町内会組織」から、隣接する町内会との連携、地域にあるカフェ、地域内外のNPO、子育て団体学生サークル・・・といった“ゆるやかなネットワークをつくり、地域コミュニティを運営



③農業・観光・産業

びほろ体験・観光プロジェクト

- 農業、林業、観光、地場産物を町民主体で体験化する活動です。
- 朝採れアスパラの収穫・試食、農業体験、キャンプ体験、町民観光ガイド、地元農産物を町民が買いやすい仕組みづくりなどがあげられます。

●町民がやれること

- 朝採れアスパラの収穫・試食、農業体験、キャンプ体験、観光ガイド

●町民向けにやること

- 地元農産物を町民が買いやすい仕組みづくり
(ボランティアからコミュニティビジネス化)
- 「美幌体験メニューづくり」として、農業者の協力を得て小さな農業体験、ワークショップなどでまちなか散策ルートを考え、歩いてみるなどから始める
- 行政のひとおし:事業者との調整

● 農業体験(ワイナリー)ツアー(浦臼町)



④イベント・にぎわい

まちなかにぎわいプロジェクト

- 空き家・空き店舗、商店街、公園などを活用して、にぎわいをつくる活動です。
- フリーマーケット、商店街イベント、アイスクャンドル、盆踊り、ストリートピアノ、野外音楽イベント、高校生企画イベントなどがあげられます。
- 将来的にはゲストハウスのオープンなども想定します。

●高校生や町民がやれること

- フリーマーケット、商店街イベント、アイスクャンドル、盆踊り、ストリートピアノ、野外音楽イベントの企画・運営

●商店街や事業者が中心で検討・やること

- 空き店舗の活用、ゲストハウスの運営など
- 「定期的なまちなか実験」として、空き店舗前（軒先）、商店街、公園などを使い、フリマ、音楽、マルシェ、高校生企画を試す仕組みなどが考えられます。
- 行政のひとおし：道路や公園、空き店舗の利用調整

●若手の定期的な集まりから生まれたにぎわいイベント(清里町)



キッドパス(クレヨン)



ボードゲームコーナ



テレビゲームコーナ(eスポーツ)



キッズスペース

- 公共空間を活用したにぎわいイベント
 - ・ 歩行天国・モルック・キッチンカーなど
- 冬のスノーキャンドルイベント
 - ・ 冬のイベントとしてのスノーキャンドル
- 空き施設・空き店舗の活用



高校生をリーダーとしたスノーキャンドル(蘭越町)



札幌市宮の沢地区方向者天国イベント

⑤デジタル・情報・防災

美幌の魅力発信プロジェクト

- 町民が自分たちの好きな美幌を発信する活動です。
農産物、観光、食、歴史、イベント、暮らしの魅力などを、SNS (Instagram)、動画、冊子、口コミで伝えていく取組として整理できます。

●町民がやれること

- 情報発信チームづくり、SNSや動画、冊子などでの情報発信
- 「(仮称)びほろ発信隊」のような町民チームをつくり、月1回程度など定期的に、町民おすすめの場所・食・人・活動を発信する仕組みにする。
- 行政のひとおし:びほろ発信隊の最初の組織化と紹介

●市民がつくったまちの情報冊子(網走市)

- まちづくりセミナーを通して知り合った市民やカフェオーナーのメンバーが、「アバシリアソビ」という冊子を制作したり、コミュニティFM番組をスタートしている。
- まちづくり会社とともに支援しています。



⑥地域コミュニティ

地域コミュニティ・まちぐるみ支え合いプロジェクト

- 地域のつながりや見守り、参加の入口づくりに関する活動です。
- ボランティア活動、所属にこだわらない参加窓口、若者が地域に参加するきっかけづくり、若者による高齢者向けスマホ・LINE講座などが考えられています。
- 自治会などの既存組織だけに頼らず、**できる人が、できる時に、できることで関わる仕組み**にする。(全国の町内会・自治会の仕組みとして広まりつつあります)

●高校生や町民がやれること

- できる時にできることを行うサポーターに登録

●地域コミュニティ(自治会など)でやれること

- サポーターによる地域コミュニティ運営の理解
- 高校生などボランティアへの証明書の発行
- 「びほろ・ちょこっとサポーター制度」として、自治会でのイベント企画・運営、デジタル化、スマホ教室、などを登録制・単発参加型で進める
- 行政のひとおし:ちょこっとサポーターの窓口づくり

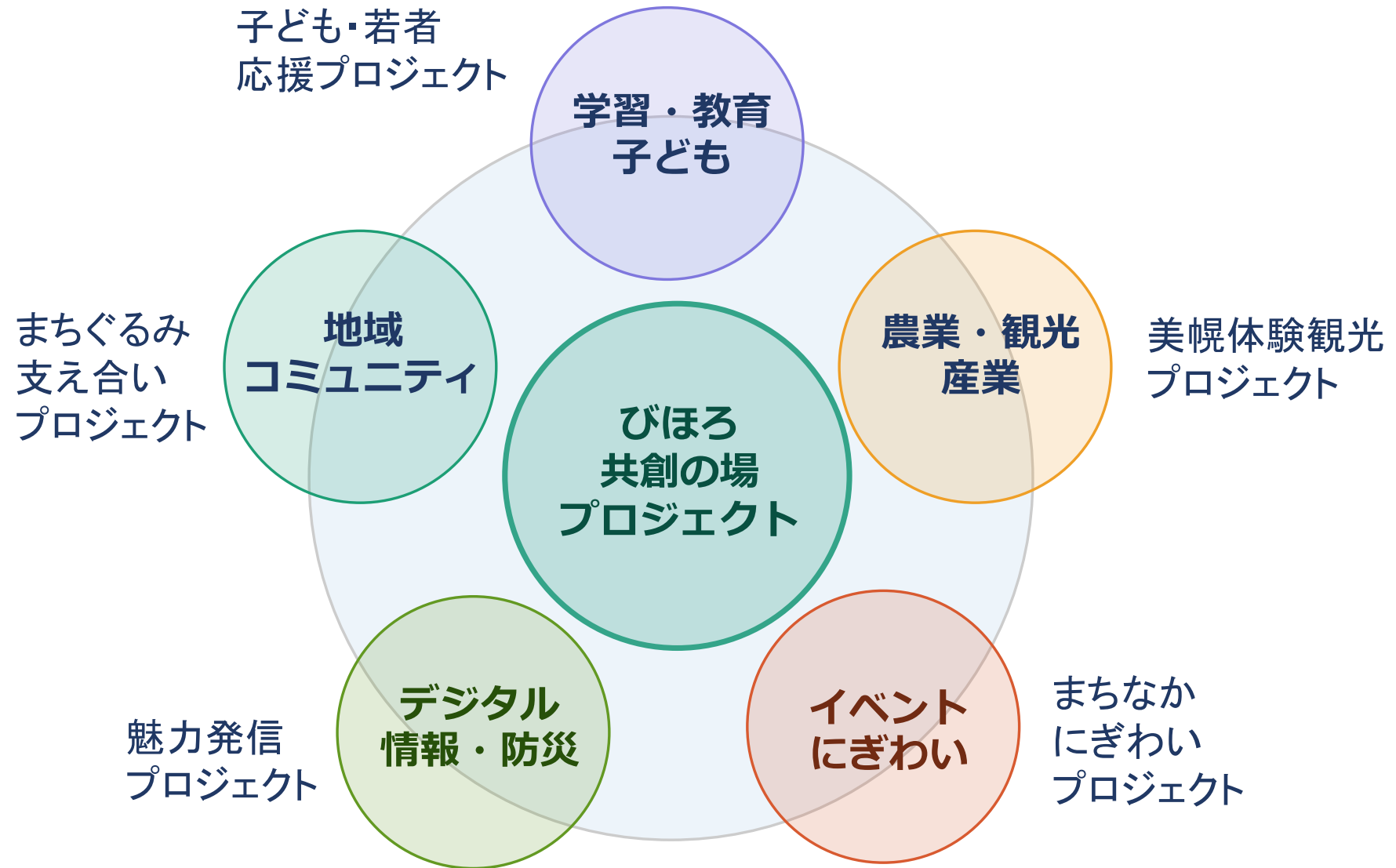
●高校生サポーターが企画から参画した町内会イベント(札幌市)



●サポーターによる町内会のクリスマス会の実施(札幌市)



美幌町 みんなでまちづくりプロジェクト



4. 全体討議

テーマ：まちづくりプロジェクトの推進

①各プロジェクトへの意見・質問

②各プロジェクトへのシール投票

一人3つまで選んでシールを貼ってください

 取り組みたいプロジェクト

 応援したい・支援したいプロジェクト

③実際に動かしていくための仕組みと体制について

④今日の結果は

第7期

美幌町総合計画

策定へ向けて

2027→2038

行政計画



基本構想

将来像

理念

基本目標

基本計画

重点プロジェクト

各施策

まちづくりアクション

総合計画と連動する

町民主体のまちづくりのアクション

+



美幌町の目指す将来像

・ 2038年のシーンと物語

将来像の実現に向けて

・ 町民主体まちづくりプロジェクト

まちづくりアクションのイメージ

PROJECT # 1

まちの にぎわいづくり

空き家や公共施設を活用して
お試し飲食店や、小さな
マルシェのイベントを開催
したい！



HOW?

- 1 空き家や既存の施設を使ってできそうなイベントを企画してみよう
- 2 まちの高校生や若者、地域の事業者など協力してくれる仲間を集めて、開催までの準備を進めよう
- 3 イベントに参加してほしい人に向けて情報を発信しよう

PROJECT # 2

映えスポットと まちの情報発信

美幌町の良いところを
町内外の人に向けて
発信したい！



写真映えするスポットや
美幌町の良いところを
バズらせたい！



HOW?

- 1 美幌町の良いところ・好きを共通のハッシュタグで情報発信
- 2 美幌町のブランド化を進めよう
- 3 まちの高校生や若者を「まちのインフルエンサー」として起用しよう

PROJECT # 3

共創の場づくり

まちづくりのアイデアを
共有して、実現するため
のつながりをつくり、
育てていきたい！



HOW?

- 1 気軽に集まる「おしゃべり会」「カフェ会」などで「やってみたい」をシェアしてみよう
- 2 アイデアを実践してみるチームを作って、小さく始めてみよう
- 3 実践者同士が学び合える「ゆるいつながりの場」を定期開催しよう